

小中一貫教育

子どもたちの「育ち」を見守り、「学び」をつなぐ…。

恵まれた教育環境を強みに、子どもたちの夢と志をはぐくむ教育を、「土佐山『志』メソッド」で実現します。

とさやま「志」メソッド

前期ブロック 小学1年～小学4年

夢を描く

学校生活に慣れながら学習習慣を身に付け、なかまづくりに取り組む時期です。学習との出会いの場面で、「学ぶ楽しさ」や「わかる喜び」を引き出すことで、学習への興味・関心や挑戦意欲につなげ、将来の夢をはぐくみます。

1年

2年

3年

4年

学習習慣確立期

学級担任制

中期ブロック 小学5年～中学1年

自分を見つめる

自分のよさに気付くとともに、そのよさを生かして集団に貢献することで、よりよい人間関係を築く力を身に付ける時期です。基礎・基本の定着を図りながら、学んだことを活用し豊かに表現することで、高い自尊感情を培います。

5年

6年

7年

基礎・基本定着期

学級担任制→教科担任制

後期ブロック 中学2年～中学3年

道を拓く

自分らしい生き方・あり方について考え、確かな自己実現に取り組む時期です。基礎・基本の活用とともに、応用力を高め、課題の解決に必要な思考力・判断力・表現力の充実を図ります。

8年

9年

発展・応用力充実期

教科担任制

施設の一体化による**機能性**、小規模校ならではの**機動性**、円滑な学年接続を見据えた教育課程の**柔軟性**など、小規模施設一体型小中一貫教育のメリットを最大限に生かし、9年間の系統的な教育活動に取り組みます。

小中乗り入れ授業

小学校の授業を中学校の先生が進めたり、中学校の授業に小学校の先生が入ったりと、小、中の枠を超えて学習指導にあたります。学習面だけでなく、生活面も全員の先生がサポートにあたります。



中学校教員による授業(6年算数)

たてわり活動

学年の枠にとらわれない活動の場があることは、年齢とともに変化する自分の役割への気付きにつながります。リーダーを中心とした自治の力を付けるためにも、たてわり活動を大切にします。



たてわり活動(掃除)

やさしさ・あこがれ

「やさしさ」や「あこがれ」は、人をつなぎ、自分を高める大切な要素です。幅広い年齢層からなる学校生活が、下級生に対する慈愛の念、上級生に対する憧れの念を高めます。



異学年交流(1年・9年)

伝える力・表現する力

自分のよさに気付き、他者のよさを認める、それが人間関係づくりの一步です。相互理解を深めるとともに、達成感や自信を次の学習につなげるために、表現活動を重視します。



きらきら集会での発表(1年)